

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フタール枚方（放課後等デイサービス）		公表日		令和7年4月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		学習・運動など内容に合わせて部屋を分けている。	スペースの仕切り方を更に工夫し、安全確保に努める。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	9		専門の職員を配置している。	更に役割分担等を明確にしていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	玄関出入り口を含め、建物内はバリアフリー化されている。	通路や視線の切れる場所があるため、子どもの動きに注意していきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日終業時の清掃を行い、消毒等も行っている。	現状の清潔感を維持するように職員の意識が必要だと思われる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	集中して療育に取り組める部屋を設定している。	より用途に合わせた使いやすさを検討したい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	3	定期的に情報共有の機会を設け、改善に努めている。	常勤職員に限らず情報を得られるようにしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3	可能な限りの把握に努め、改善に努めている。	今後も保護者からの意向等を把握する機会を活用していく。（面談、送迎、評価表等）	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的に職員会議を開催し、情報共有している。	より職員同士が意見を交わせる機会、形を考えたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	定期的に評価、振り返りを行っている。	外部評価が受けられる状況を検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	定期的な評価、振り返りと共に研修会を設けている。	研修などで得た情報や知識を日々の支援により反映していきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	見直しを行い、作成・公表している。	今後内容を個々の利用者に対応できるものに修正していきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		作成・評価をし、要望や発達段階を考慮したうえで、計画している。	利用者のニーズを検討した上で新たな支援計画を作成していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		全職員で情報を共有し、検討・作成を行っている。	日々の支援でも理解を深め、支援の改善をしていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		全職員で共有し、計画を常に再確認出来る様にしている。	共有内容についても確認しつつ支援を行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	定期的に職員会議を行い、確認している。	日々の朝礼等でも細かに確認していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	3	1人1人の状態を把握し、内容を設定している。	支援計画に項目を設定しているが、具体的な支援内容に関しては、更に検討が必要だと感じている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		担当者を中心に立案し、全職員が内容の把握に努めている。	立案者以外の意見やアイデアも取り入れたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	同じプログラムが続かないよう、内容を変更しながら設定できている。	繰り返しの刺激も大事にしているが、同じ狙いを持ったプログラムでもアプローチを工夫したい。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		それぞれの状況を把握し、個別・集団に偏りが出ない様に計画している。	内容を確認しつつ、支援を継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	朝礼で利用者の確認を行い、プログラムの担当者が他職員へ情報共有している。	役割分担や内容について更に細かく情報共有していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	当日中には行えておらず、業務日報や朝礼で翌日に共有している。	終業作業時に優先順位の高い事柄だけでも振り返りを行いたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	記録を残し、担当者が改善策を立案し、職員で共有している。	検証・改善内容の共有が不十分な面があるので共有を徹底していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	半年に一度モニタリングを行い、保護者の意向を支援計画に反映し、見直しを行っている。	見直した計画を日々の療育に更に反映していきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	4	組み合わせで適切な支援が行えている。	自立支援や創作活動、余暇の提供などの提供を状況に合わせて支援していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	個別支援のプログラムを選択できるようにしている。	個々に適応した選択肢を増やす工夫もしていきたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		担当者を中心に参画している。	担当者以外の職員も状況の理解を深めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	必要があれば送迎時に保育園や学校と情報共有している。	引き続き情報共有をし、連携していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	適宜行っている。	支援学校・地域学校共に連携出来る体制を整えたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	担当者会議等で情報の共有に努めている。	今後も必要な情報共有には努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	対象児童がいない為、行っていない。	今後、対象になる児童については情報共有に努めたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	発達支援センターの見学やモニタリングを行い、療育センターより見学、振り返りを通して助言を受けている。	引き続き支援センター等と連携していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	開設1年目という事もあり、体制が整っていない。	今後、地域交流の機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	6	協議会等からの参加案内はあったが、参加出来ていない。	今後、協議会への参加を検討したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	2	送迎時、デイや家での様子を保護者と共有し理解に努めている。	SNS等を活用し、子どもの状況を共有していく環境を整えたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	7	参加者を募る事が難しい面があり行えていない。	保護者会等を開催し、情報共有の機会を増やしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時に契約書類の内容を分かりやすく説明している。	不明な点等があれば保護者が質問しやすい環境を整えたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	定期的な面談を行い、確認している。	子どもの成長や発達状況に合わせた保護者の意向確認を継続して行いたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		見学時のアセスメントを基に支援計画書について説明している。	引き続き説明を徹底していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		面談以外でも送迎時やSNSを通して等、適宜相談、支援を行っている。	今後もできる限りのサポートに努めたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	8	体制が整っていない。	父母の会の開催を視野に入れて、保護者のニーズの確認に努めたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	2	事業所責任者が状況を把握し、保護者からの要望等を伺った場合にはできる限りの対応をさせていただいている。	苦情が出さない為にも、利用者のニーズを把握するよう努める。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	月ごとの活動予定は長期休暇中のみ発信出来ている。	SNS等を活用し、日々の活動についての発信も増やしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		情報の保管、閲覧に決めた取り決めは徹底している。	取り扱いが曖昧な書類等についても留意していきたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	概ね出来ている。	よりお互いに分かりやすいやり取りが出来よう視覚支援等を取り入れたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	地域の方を招待する行事は行っていない。	今後、地域交流も視野に入れた活動を検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	定期的な訓練は行っている。	警察、消防へ講師を依頼し、交通安全教室等の開催機会を更に増やしたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3	定期的な訓練は行っている。	具体的な計画やマニュアル策定し、様々な事を想定した訓練を検討、実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	一覧表を作成し、共有できている。	予防接種についても共有していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者を通じてアレルギーの有無や対応について事前に相談し、対応している。	おやつ等の時間等での席の位置など注意しているが、全職員への情報共有を徹底する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3	日々、危険な箇所や物の扱いについて話し合い、改善している。	更に具体的な安全計画を作成する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	デイでの様子、家庭や学校での様子を共有している。	安全に過ごせるよう個に応じた支援を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	記録を残し、共有している。	再発防止の為に検討の場を増やす。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	4	適切な対応を行っている。	虐待等の問題は発生していないが、具体的な事例等を全職員で共有し、虐待に対する理解を深める。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		計画に記載し、契約時に保護者へ説明している。	虐待と同様、具体例を共有し、身体拘束に対する理解を深める。